

「砂川駅前地区整備基本構想（案）」にお寄せいただいたご意見と砂川市の考え方

○意見募集期間 令和2年2月1日（土）～令和2年3月1日（日）

○意見提出者数：2人（個人2人）

○意見提出数：3件（個人3件）

○意見要旨及び意見に対する砂川市の考え方

※意見などについては原文の通りとしていますが、一部読みやすくするため修正、集約、分割などを行っています。

No	寄せられたご意見など	ご意見などに対する市の考え方
1	<p>第4章 砂川駅前地区の整備方針</p> <p>(1) 駅前地区整備の基本的な方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂川市も人口減少と高齢化は確実で、駅から病院まで安全快適にウォーキングしながら移動できる歩行空間が必要です。 ・屋内広場とフリースペースを検討すると、個別の空間になりがちですが、休日夜間も利用可能な、駅から病院への自由通路とすべきです。 ・公益的機関、物販店舗等を配置すると、札幌駅や新千歳空港のように広い空間に雑多に配置する事（ドン・キホーテ的宝探し空間）になりがちです。新千歳空港のような半円設計や、イオンモールのような曲線構造は、時間のある利用者には適切ですが、公益的機関への移動を目的とした利用者には、迷子の不安を与えるだけです。駅・病院を結ぶ直線通路の両側に、南面屋外広場と北側各施設を夏祭りの屋台のように配置して、動線設計すべきです。 	<p>ご意見などに対する市の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4章砂川駅前地区の整備方針にありますように、駅から病院までの東西導線(軸)、国道12号沿線の南北導線(軸)は施設整備を検討する上で重要であると考えておりますので、基本計画の検討際には充分考慮していく必要があると考えております。
2	<p>第4章 砂川駅前地区の整備方針</p> <p>(1) 駅前地区整備の基本的な方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来、人口減少に伴い施設も縮小します。奇抜な設計は止め、例えば、10mピッチの標準設計とし、他用途転用を容易にしましょう。木造ガラス張り1F部分を長寿命コンクリとすれば1000年寿命となります。市内でプレハブ部材を製造する仕組みにして、他地域に、長寿命施設商品として販売すれば、労働人口の増加が期待できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備にあたっては、人口減少や少子高齢化といった外的要因の変化に対応できるよう、施設のハード、管理運営の面で持続可能なものであることが必要であると考えております。施設の構造及び工事手法については、基本計画や設計段階において、検討してまいります。
3	<p>第4章 砂川駅前地区の整備方針</p> <p>(1) 駅前地区整備の基本的な方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パークを作ってください 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園又は広場のことを広く指していると思いますが、本構想の基本的方向性の1つ「日々の生活に潤いを与える市民のための”居場所づくり”」を実現するため、その利用シーン例として「平日日中の子どもの遊び場」、用途イメージ例として「広場」を挙げており、頂いたご意見はこの分類に含めることができるものと解し、今後基本計画の中で検討を進めてまいります。